

行動を楽しむ基本性能【ボディ・シャシー】

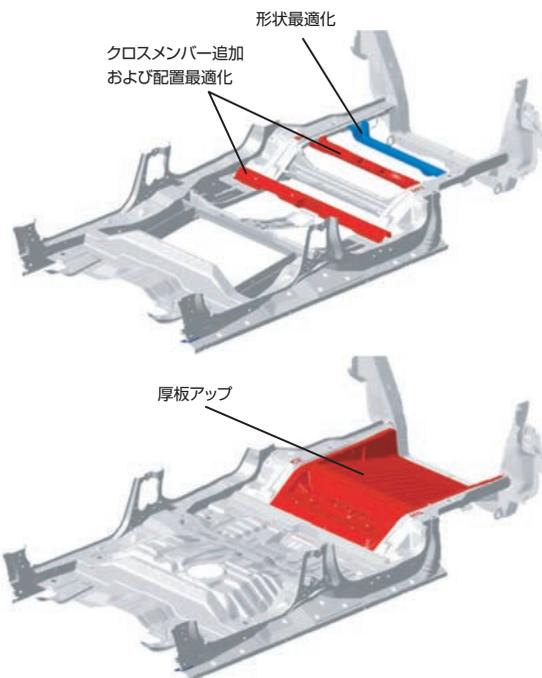


高全高・大開口のボディをしっかり支え、 重量物を積んでも安定した走りを提供する 専用ボディ&シャシー。

趣味やレジャーを楽しむクルマとして、目的地までの移動時間も楽しく快適に過ごせるようにしたい。そうした思いから、高速走行や長距離移動でも疲れにくい、安定感のある走りを追求しました。ボディは、N BOXをベースにリア回りを高剛性化。サスペンションやステアリングには専用セッティングを施しました。これらにより、重い道具を積んでも、しっかりと安定感のある走りを実現しています。

テールゲートを拡大しながら N BOX 同等の高い剛性を実現

一般的に、テールゲートを拡大するとリア回りの剛性は低下します。そこで、N BOXで実現した軽量・高剛性ボディにクロスメンバーを追加し、配置や形状を最適化。N BOX同等の高い剛性を獲得しました。また、フロアパネルの板厚をアップし、重量物の積載に対応しています。



安定した走りを提供する、専用サスペンション&14インチタイヤ

N BOXと同じ形式としながら、フロントサスペンションはスタビライザーを全タイプに適用拡大。リアサスペンションはバネレートとダンパー減衰特性を最適に設定しました。また、全タイプ14インチタイヤを標準装備。重量物を積載しても安定した走りや快適な乗り心地を提供します。

■マクファーソン・ストラット式フロントサスペンション

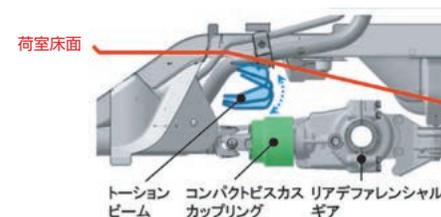
■H型トーションビーム式リアサスペンション



図はFF車

センタータンクレイアウトにより、斜めの床で4WD車を実現

斜めの床を実現するうえで課題となったのが4WDシステムとの両立でした。後輪車軸とリアデファレンシャルギアが一体となったシステムでは、タイヤとともにリアデフが上下に揺動するため、斜めの床との両立は困難です。N BOX +は、センタータンクレイアウトによって後輪車軸前方にビームを配する空間をつくり出し、H型トーションビーム式サスペンションの採用を実現。リアデフを独立させるとともにボディに固定して揺動をなくし、斜めの床のまま4WDシステムの搭載を可能にしました。また、コンパクト設計のビスカスカップリングによりトーションビームの稼働範囲を十分に確保し、優れたサスペンション性能も同時に達成しています。



高速道路や山道でも安定感のあるステアフィール

街中での扱いやすさを重視したN BOXに対し、N BOX +は高速道路や山道の走行までを想定。操作性と手応えを最適バランスさせたEPS設定とし、街中での扱いやすさと高速道路などでのしっかりしたステアフィールを両立させました。